

審 議 経 過

No. 1

1. 開 会
2. あいさつ
3. 男女協働参画懇話会「いまりプラザ」と伊万里政策研究クラブとの意見交換会

伊万里政策研究クラブ：会派党派を超え、毎月 1 回会合を催し政策等の研鑽
(盛 泰子 議員、加藤 奈津実 議員、中山 光義 議員、山口 恭寿 議員)

(1) 男女協働参画懇話会「いまりプラザ」の取り組みについて

○事務局：設置から、これまでの経緯

平成 7 年の男女協働参画懇話会設置から現在までの主な取り組み

- ・啓発冊子の作成
- ・フォーラムの開催
- ・「伊万里市男女共同参画まちづくり条例」制定についての提言書提出

等を説明。

(2) 伊万里市における男女協働参画のこれまで

○盛 泰子議員：市の取り組み

平成 6 年の女性政策室設置、女性政策推進会議設置から、平成 2 8 年
「伊万里市男女協働参画を推進する条例」制定までの流れ

- ・女性問題懇話会「いまりプラザ」設置
- ・「男女共同参画」ではなく男女でともに築き上げていくために「男女協働参画」にこだわったこと
- ・男女共同参画が言われはじめた頃は、弱者のことと捉えられていたため、多くは福祉・教育部門に担当部署が設置されたが伊万里市は当初から総務部門に設置された。
現在は総合政策部となり男女の平等な人権の啓発事業としている
- ・“男女協働参画を推進する条例” 5 条に関し、「議会は、意思決定機関として、基本理念に基づき、男女協働参画の推進に配慮しなければならない」とし「努める」等の努力目標ではなく義務とすることに伊万里政策研究クラブの議員がかかわったこと

等を説明。

主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

審 議 経 過

No. 2

(3) 国における男女協働参画について

○加藤 奈津実 議員：国の取り組み

平成9年施行、男女共同参画審議会設置法から現在までの国の取り組みや内閣府男女共同参画局の冊子やホームページに掲載されたコラムの紹介

- ・「男女共同参画社会基本法」基本理念において
①人権の尊重、②阻害要因の除去、③政策・方針決定過程への男女共同参画、④家族的責任等、⑤国際的協調による取り組みの推進の5つが示されたこと
- ・平成13年に毎年6月23日から29日を男女共同参画週間に定められたこと
- ・(衆議院議員候補、参議院議員候補、統一地方選挙候補、市町村の部長級、公務員の男性育児休暇取得率、審議会、自治会長)女性の占める割合の「計画策定時の数値」「目標値」「最新値」
- ・コラム「男性たちに男女共同参画の重要性を認識してもらうために」の紹介

等の説明。

(4) 伊万里市男女協働参画を推進する条例について
条例の概要説明

(5) 意見交換(進行：加藤 奈津実 議員)

委員：啓発活動や条例の周知など行っているが、市民アンケートの結果を見ると、知らない市民があまりにも多く衝撃だった。

議員：地区の区長の女性比率があまりにも少ない問題もある。

委員：区長に関してというか役等に関し、女性の方から避ける傾向にある。それも男女協働参画の啓発により、改善していけばと考える。

議員：自身がPTA委員だったころ、大川小学校の卒業名簿を男子優先ではなく男女の生徒交互に明記するように変えた。今では他の学校にも広がりを見せつつあり、子どもたちの意識も変わってきていると思う。

委員：最近の子どもたちや学生には男女協働参画意識は浸透しつつある。

議員：市民アンケートの「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきと思うか」について、令和3年度調査では「そう思う」が増えているが、中・高校生は「そう思わない」がかなり増えている。

若い層には男女協働参画の意識が浸透しているのを見て取れる。

委員：子どもたちが、社会に出て変化していくのが残念。子どもが成人し職に就き、男性育児休暇を取得しようとする会社からは前例が無いなどの理由で、育児休暇が取得できない。伊万里市はまだまだ環境が整っていない。そういうことが社会で繰り返され男女性別役割分担意識

※主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

審 議 経 過

No. 3

が減らないのではないか。

委員：議員から紹介のあったコラムにもあるが「男女共同参画を進めるためには、何よりもワーク・ライフ・バランスが前提となる。ワーク・ライフ・バランスを、“仕事を抑制し私生活を大切にすること”と考えている人もいるようだが、そうではない。生産性を高めつつ男女で効率よく働き、ともに家庭・地域に責任を持つこの仕組みがうまく形成できれば子育てや介護の面でも多くのプラスを生み出すはずだ。」がすべてではと思う。

委員：啓発やフォーラム開催は、佐賀県男女共同参画センター・アバンセの講師紹介を利用している。それ以外の講師への依頼は別途経費が掛かる。こうして伊万里政策研究クラブの議員の皆さんと意見交換が来て、そういう経費の面でも議会で協力していただけたらと思う。

議員：議案が出たら、ぜひ協力していきたい。

4. 協議

(1) 出前講座について

開催日：7月5日(火) 18:30～19:30

場 所：大川コミュニティセンター

対 象：大川町コミュニティ運営協議会 安心安全部会 30名

テーマ：男女協働参画視点から考える防災

・会長、事務局で対応 伊万里ケーブルテレビジョン取材あり

○予定

1. 立花地区 7月下旬を予定

テーマ：未定

対 象：立花レディースクラブ

2. 大川小学校 9月を予定

テーマ：LGBTQ

対 象：大川小学校 5年生(21名)

以上を報告する。

(2) 「男女協働参画フォーラム」の開催について

10月15日(土)市民センター 文化ギャラリー

講師：田口 香津子 さん(アバンセ館長)

詳細については今後、詰めていく。

NPO法人 被害者支援ネットワーク佐賀VOISS副理事長でもあり

子ども支援やDV防止支援等も検討

以上を報告、確認する。

※主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

審 議 経 過

No. 4

(3)その他

- 男女共同参画週間パネル展、展示準備協力確認
6月29日(水)10時から 市民図書館 展示ホール
委員1名

以上をお願い、確認。

- 伊万里市部落差別の解消推薦及び人権擁護審議会委員の推薦について
プラザ委員1名の再任
任期：令和4年8月11日～令和6年8月10日(2年間)
- 伊万里市男女協働参画審議会委員について
プラザ委員3名の選任

以上を報告する。

- 広報伊万里10月号 寄稿
労働部会 (原稿締切8月25日)

以上を確認。

5. 次回開催日

令和4年7月25日(月)18時30分から
市民センター 一般教養室2(予約状況により変更有)

6. 閉会

※主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。